

千成倶楽部 3勝3敗2分でリーグ戦終了! いざ県大会へ!

創部25年目優勝2回の名門千成倶楽部は、令和3年度リーグ戦は3勝3敗2分で終了!
 コロナ禍で日程変更となった県大会は10月2日(土)から開催されます!

△8月1日(第6戦 2勝1敗2分) あおしん球場

千成倶楽部	5	0	0	0	0	0	0	5	嶋貴一 濱田
永球会Ⅱ	3	0	1	0	1	0	0	5	大谷、附田、柿崎・津島

・三塁打：柿崎(永) ・二塁打：嶋貴(千)、北村2、高木(永)

5点先行も追いつかれ、無念の引き分け…

嶋貴、6奪三振の力投及ばず勝利逃す…

- 千成は初回、5連続四死球と乱れた永球会先発の大谷から暴投・捕逸と無安打で2点を先取。二番手附田にも6番濱田の三ゴロが敵失を誘い三走嶋貴が生還と運も味方した。一死後8番佐藤泰の鮮やかな左前タイムリー、さらに捕逸で5点目をもらい、早々に主導権を握ったかに思われた。
- しかし1回裏、今季4試合目先発嶋貴が先頭の北村に左越二塁打され、四球と守備のミスで無死満塁のピンチを招き、内野ゴロと三振で二死まで粘るも、大谷に代わり守備に入った6番柿崎に右越三塁打を浴びて一挙3点を失った。さらに3回裏には1番北村の二塁打から1点を追加された。
- 1点差に詰め寄せられた千成は4回表、2番中村、3番嶋貴の連打などで一死満塁とし、打席にはこの試合4番に座った中嶋と最大の見せ場を迎えたが、期待の中嶋は力が入りすぎて痛恨の併殺打(5-2-3)に倒れ、苦悶の表情で天を仰いだ。
- 嶋貴は7安打されながらも、6奪三振の力投。守備陣も2併殺を決めるなどしたものの、長短3安打と好調の永球会1番北村に3回・5回の失点に絡まれて5回裏にとうとう同点を許した。
- 千成は永球会2番手の附田の軟投を打ちあぐみ、3番手柿崎には5～7回に濱田の中前打、3番嶋貴の中越二塁打など毎回出塁もあと一本が続かず惜しい試合を落とした。(戦評は特別論説員白取心平氏)

★8月22日(第7戦 3勝2敗2分) 雲谷厚生会A球場

ユニオン青森	2	0	0	5	1	0	8	若松、中畑一 佐々木大
千成倶楽部	2	0	4	1	0	0	7	嶋貴、鷲尾一 濱田

・二塁打：山宮、柳谷(千)

同点、勝ち越し、逆転、再び同点! 死闘1時間51分、1点差に泣く…

- 初回、千成の先発嶋貴は5四死球に2暴投と制球に苦しみ被安打0で2点献上。その裏ユニオン先発若松も4四死球の乱調。5番佐藤央の押し出し四球、6番中嶋の左犠飛とこちらも無安打で追いつく。
- 嶋貴は2回以降立ち直り、2～3回の2イニングを三者凡退に抑えた。これに応えたい千成打線は3回裏、2番中村の四球、3番嶋貴の左前打で無死一、二塁とし、主砲山宮の左中間二塁打で勝ち越した。さらに5番佐藤央の中犠飛で2点目、二死後7番嶋が四球を選び、迎えた一、二塁の絶好機に8番齋藤が走者一掃の右越え三塁打を放ち、この一回一挙4点を挙げ、これで波に乗るかと思われた。
- しかし、4点リードで迎えた4回表、ユニオンは打者11人の猛攻。千成は四球と安打で1点を失うと、二死から不運な連続内野安打に四球も絡み、押し出しと3番前田の適時打で再び逆転を許した。
- 粘る千成はその裏、ユニオン2番手中畑から柳谷が一塁後方にテキサス安打。負傷の中村に代わった2番山谷も右前安打で続き、一死一、二塁としたが、3-5番に1本出ず、暴投の1点どまり。
- 7-7で迎えた5回表、千成は鷲尾が久々のマウンドに立ち、2安打されたが一塁・佐藤央の好守もあって最少失点で凌ぎ、最終回に望みをつなぐ。
- 1点を追う千成は最終回となった6回裏、二死後1番柳谷が執念の左中間二塁打を放つも、最後は2番に入った鷲尾が三振に倒れ万事休した。試合は1時間51分に及ぶ死闘であった。(戦評は特別論説員白取心平氏)

★9月12日（第8戦 3勝3敗2分）あおしん球場

キングス40	1	1	1	7	0	1	0	11	坂本、上山一、近藤、坂本
千成倶楽部	0	0	0	0	0	0	0	0	嶋貴、嶋一、濱田

・二塁打：羽田2、山口（キ）

無敗のキングスに投打に圧倒される…

- 千成先発嶋貴は好調な投球を見せていたが、一回表に不運な失策から1点を先制され、2～3回も失策や安打で出塁を許した先頭打者を適時打で還され連続して失点。そして迎えた4回表には、キングス打線に6安打4死四球を集中されて大量7点を失い、この回途中で交代した。
- 一方の千成打線は、キングス先発坂本満に4回までパーフェクトに抑えられ、代わった上山にも散発3安打にとどまり三塁も踏めずに今季初の完封負けを喫した。
- リーグ戦無敗のキングスに圧倒された試合であったが、好守備・好リリーフの嶋、代わってもなお三塁で好守備の嶋貴、レフト中嶋などが存在感を示し、最終回には代打の名手鳴海、負傷中でも内野安打の代打中村、今季初出場の代走五戸、ペンをバットに持ち替えた代打工藤俊にも出番があった。
- 千成倶楽部は3勝3敗2分でリーグ戦を終了したが、2敗のうちサヨナラ負けの強人軍戦と7-8で逆転負けのユニオン戦は勝機があった試合、2分のポン友B戦（2-2）、永球会戦（5-5）も勝てた試合であったと考えると、本当は7勝1敗の実力ありと自信を持ちつつ県大会に臨みましょう！

第27回青森県熟年野球選手権大会の試合日程変更

- ◇ 9月26日から開幕予定であった県大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために、10月に日程が変更となりました。（別紙組合せ表参照）
- 初戦は、10月2日（土）平内球場14時30分試合開始 対ニークーズ戦です。（13時集合）
- 対戦相手のニークーズには昨年度選抜大会初戦で2-5と惜敗しました。メンバー全員が44歳で、初出場のH30は優勝、R元はベスト8、R2選抜大会はベスト4（いずれも優勝チームに惜敗）と波に乗っているチームです。

プレイバック2020

★2020年9月27日 三沢楽天ボールパーク球場

千成倶楽部	1	1	0	0	0	0	0	2	嶋、嶋貴一、濱田
ニークーズ	0	1	3	0	0	1	×	5	山谷一、築館

・三塁打：福士（二）、二塁打：藤沢（二）

前々年度優勝チームに善戦健闘！

- 千成は1回表二死後、3番中嶋がショート内野安打、4番山宮が左前安打で続き、5番嶋のセカンドゴロが失策を誘って得た満塁のチャンスに6番佐藤がセンター前へタイムリーを放ち中嶋が還り1点を先制、二走の山宮も激走したが微妙な判定で本塁上アウトとなり2点目はならず。
- 千成先発の嶋は落ち着いた投球で1回裏を三者で抑えた。しかし二死後3番福士の三遊間の打球に三塁手中嶋が激守を見せたが大腿部を痛めて交代するアクシデントあり。
- 千成は2回表にも、一死後8番中村が四球、9番濱田が4球粘り左前安打、10番山谷の右中間安打1点を追加。1番柳谷が中前安打で一死満塁とするも追加点ならず。
- ニークーズは2回裏に4番藤沢のレフトフェンス直撃の二塁打から6番山内の右中間安打で1点、3回裏には2番手嶋貴から無死満塁で3番福士のセンターオーバー走者一掃三塁打3点で逆転。なおも無死満塁のピンチは嶋貴が追加点を許さず。
- ニークーズの山谷は3回以降は変化球を多投して千成を無安打に抑え、6回裏に死球と送りバントから1点を追加した。最終回となった7回裏の千成は代打攻勢をかけるも及ばなかった。
- ※要注意選手：打者＝3番福士龍也（背番号9）、4番藤沢豪（6）パワーあり
投手＝山谷一史（1）昨年度対戦、速球・スライダー、古川幸司（11）昨年度は5番サード、H30優勝時は準決勝・決勝連投MVP、「2018.10.7東奥日報評：カーブとスライダーのキレが抜群」